

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防団員報酬・出動手当等						
所管課	43	危機管理課	(総務部)						
事業の目的	消防団員:消防団の充実強化を図り、地域の防災力向上させ、安全で安心な地域づくりを推進する。				宇陀市一般会計予算				
					区分	No.	区分名		
					款	8	消防費		
					項	1	消防費		
目	2	非常備消防費							
細目	1	本庁非常備消防費							
根拠条例等	宇陀市消防団条例								
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現								
H28年度事業の概要	宇陀市消防団における団員の福利厚生並びに車両やポンプ等の資機材維持保全に充てる。				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	消防団は、各自の職業に従事しながらも有事に際していち早く現場へ駆けつけ、消火活動や防災活動を行っているほか、平常時には機械器具点検や訓練並びに予防啓発活動を行っており、地域防災力の中核を担う重要な組織である。 これらの活動の強化充実のため、適正な福利厚生並びに安全装備品の充実や資機材の更新による活動環境の整備を行い、組織強化を図ることで地域防災対応力向上に寄与する。				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源		34,888		
					H28予算額		34,888		
					H27当初予算額		35,308		
H27現計予算額		35,308							
増減額		▲ 420							
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	35,245	35,308	消防団安全装備品整備等助成金 388千円						
従事職員数【人工】	2.00	2.00	消防団員退職報償金 27,420千円						
人件費(人工×8,000千円)	16,000	16,000	消防団員等公務災害補償 共済遺族年金 4,944千円						
総事業費:人件費含む(千円)	51,245	51,308	消防団員等公務災害補償 共済障害年金 1,271千円						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()									
活動指標名	団員数								
活動指標の算式	-								
活動指標の実績(見込)	1,055	単位	人	1,042	単位	人			
単位当たりコスト (円)	48,573		49,240		備考				
<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)消防団活動の充実・安定									

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	新基準・消防団活動服更新事業						
所管課	43	危機管理課	(総務部)						
事業の目的 平成18年1月の合併から既存の活動服を使用しているが、採用から10年が経過しようとしている。破損などへの対応は随時しているが、多くの団員は、当初配備したままの活動服であり、経年劣化による色落ち、機能低下が著しい。 平成26年2月、総務省消防庁は「消防団の装備の基準等の一部改正」を行い、消防団員制服基準「活動服」についてもその対象である。 今回、服制基準改正に伴い、本市消防団の活動服においても機能性(難燃性、強度、通気性、帯電・静電防止、袖ファスナー等)活動時の安全性(視認性、注目度等)の向上が必要であるため更新するものである。					宇陀市一般会計予算				
					区分	No.	区分名		
					款	8	消防費		
					項	1	消防費		
					目	2	非常備消防費		
細目	1	本庁非常備消防費							
根拠条例等									
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現								
H28年度事業の概要	消防団活動服の更新に伴う購入費用 2年計画の1年目(菟田野・室生分)				財源の内訳 (単位:千円)				
		単価(税込)	数量	合計	備考				
	上衣	6,480	472	3,059千円		分担金			
	ズボン	5,940	472	2,805千円		使用料			
	合計			5,863千円		国費			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	新基準の活動服は、オレンジ色の配色を増やす等変更を行うため、夜間活動時等の視認性及び注目度を高め、火災、水防活動時の団員の安全確保等につながる。				市債 5,800				
					その他				
					一般財源 63				
					H28予算額 5,863				
					H27 当初予算額				
					H27 現計予算額				
					増減額 5,863				
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)					過疎対策事業債 5,800千円				
従事職員数【人工】									
人件費(人工×8,000千円)									
総事業費:人件費含む(千円)									
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()									
活動指標名									
活動指標の算式									
活動指標の実績(見込)			単位		単位	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)消防団活動の充実・安定			
単位当たりコスト (円)									

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防災行政無線システム整備事業				
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	現在、運用中のアナログ波防災行政無線(旧町村別4波)の設備を更新統合し、デジタル波防災行政無線(市内全域1波)に整備し、非常時の情報伝達システムを構築する。				区分	No.	区分名
					款	8	消防費
					項	1	消防費
					目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H28年度事業の概要	同報系無線設備整備工事の3年目				財源の内訳 (単位:千円)		
	科目名		予算額	備考		分担金	
	旅費		50千円	打ち合わせ等交通費		使用料	
	需用費		4,004千円	中継局・屋外拡声子局電気代他		国費	
	役務費		1,838千円	回線使用料等		県費	
	委託料		1,994千円	工事監理費		市債	181,100
	使用料及び賃借料		587千円	電波利用料、借地料		その他	
	工事費		174,483千円			一般財源	1,856
合計		182,956千円			H28予算額	182,956	
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	防災行政無線設備における市内全域への情報配信が可能となるとともに、自主放送うだチャン11や携帯電話メールなどの装置との連動により、多様な方法で市民に迅速かつ一斉に正確な情報伝達を行うことができる。 また、避難所との通信の確保並びに災害時の情報収集や連絡に活用することが出来る。					H27 当初予算額	580,901
						H27 現計予算額	580,901
						増減額	▲ 397,945
						特定財源の状況	
						緊急防災・減災事業債 181,100千円	
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)		117,000	580,901				
従事職員数【人工】		0.80	0.80				
人件費(人工×8,000千円)		6,400	6,400				
総事業費:人件費含む(千円)		123,400	587,301				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		出来高					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		117,000	単位	千円	580,901	単位	千円
単位当たりコスト (円)		1,055		1,011			
		備考					
		<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (2)防災行政無線システム整備事業					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	安全・安心メール配信事業					
所管課	43	危機管理課	(総務部)					
事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、市からの防災・防犯情報をいち早く市民に伝達し、市民の安全・安心を確保する。				宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	8	消防費	
					項	1	消防費	
					目	3	災害対策費	
細目	1	災害対策費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現							
H28年度事業の概要	登録者に対して迅速かつ確実にメール配信を行うことが可能な事業者のシステムを利用する。 メール発信システム使用料 402千円				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、安全・安心メール配信システムに登録した市民に対し、災害時における避難情報等の緊急情報や気象警報、火災情報、防犯情報等を配信するとともに、CATV自主放送(うだチャン11)との連動により多くの市民への情報伝達を図り、市民の安全・安心を確保する。 また、聴覚障害者に対して、防災情報取得の第1の手段としての活用が期待される。 災害発生時の迅速な対応を行うため、市職員及び消防団員の緊急招集に活用する。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	402		
					H28予算額	402		
					H27当初予算額	402		
H27現計予算額	402							
増減額								
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)			402	402				
従事職員数【人工】			0.01	0.01				
人件費(人工×8,000千円)			80	80				
総事業費:人件費含む(千円)			482	482				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名	登録者数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績(見込)	2,599	単位	人	2,983	単位	人		
単位当たりコスト (円)			185	162				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (3)防災・防犯情報等メール配信事業							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	防災意識啓発事業																	
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算															
事業の目的	土砂災害に関する講演会等の開催や啓発パフレットの配布を通じて、市民・自主防災会等の防災・減災意識の高揚を図る。また、市地域連携型防災訓練を開催し、防災関係機関や事業者・諸団体等との連携を強化し、市全体の防災力の向上を図る				区分	No.	区分名													
					款	8	消防費													
					項	1	消防費													
					目	3	災害対策費													
細目	1	災害対策費																		
根拠条例等																				
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現																			
H28年度事業の概要	①地域防災マップ作成支援 ②土砂災害等防災講演会 ③地域連携型防災訓練 ④避難所案内パンフ配布				財源の内訳 (単位:千円)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>50千円</td> <td>講師謝金</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>1,120千円</td> <td>リーフレット、チラシ作成等</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>65千円</td> <td>リーフレット、チラシ作成折込手数料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>600千円</td> <td>防災マップ作成支援</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,835千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	科目名	予算額	備考	報償費	50千円	講師謝金	需用費	1,120千円	リーフレット、チラシ作成等	役務費	65千円	リーフレット、チラシ作成折込手数料	委託料	600千円	防災マップ作成支援	合計	1,835千円		分担金
科目名	予算額	備考																		
報償費	50千円	講師謝金																		
需用費	1,120千円	リーフレット、チラシ作成等																		
役務費	65千円	リーフレット、チラシ作成折込手数料																		
委託料	600千円	防災マップ作成支援																		
合計	1,835千円																			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	宇陀市防災計画に基づき、「市民・自主防災会等の防災・減災意識の高揚を図る」という事業目的に沿い、情報提供や各種行事等での情報提供を行い、幅広く、啓発を行う。				使用料															
					国費															
					県費															
					市債															
					その他															
					一般財源	1,835														
					H28予算額	1,835														
					H27当初予算額	2,268														
H27現計予算額	2,268																			
増減額	▲ 433																			
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況																	
決算額又は決算見込額(千円)	1,242	2,268																		
従事職員数【人工】	0.80	0.80																		
人件費(人工×8,000千円)	6,400	6,400																		
総事業費:人件費含む(千円)	7,642	8,668																		
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																				
活動指標名	訓練支援回数																			
活動指標の算式	-																			
活動指標の実績(見込)	23	単位	回	25	単位	回														
単位当たりコスト(円)	332,261		346,720																	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (5)防災意識啓発事業																			

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	避難所設備強化事業																						
所管課	43	危機管理課	(総務部)																						
事業の目的	災害時、地域の救援拠点となる避難所において、被災区民の不安感・不便感を軽減するとともに、平常時においても、市民が安心感を持って住み続けられるよう、機能の充実を図る。				宇陀市一般会計予算																				
					区分	No.	区分名																		
					款	8	消防費																		
					項	1	消防費																		
					目	3	災害対策費																		
細目	1	災害対策費																							
根拠条例等																									
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現																								
H28年度事業の概要	・災害時に指定避難所となる施設に一般用簡易トイレを配備しているが、身障用トイレ設備がない施設に対して、身障用簡易トイレの貸し出しを行う為、2セット購入し市役所で災害対策本部で管理する。 ・備蓄品(アルファ化米・飲料水・毛布)を地域拠点に配備し、避難所施設での支給品とする。				財源の内訳 (単位:千円)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単価(税込)</th> <th>数量</th> <th>合計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常時備蓄品</td> <td>1,954,000</td> <td>1</td> <td>1,954千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>身障用簡易トイレ</td> <td>240,100</td> <td>2</td> <td>481千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>2,435千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					単価(税込)	数量	合計	備考	非常時備蓄品	1,954,000	1	1,954千円		身障用簡易トイレ	240,100	2	481千円		合計			2,435千円		分担金 使用料 国費 県費 市債 その他 2,435 一般財源 H28予算額 2,435 H27当初予算額 2,538 H27現計予算額 2,538 増減額 ▲ 103
	単価(税込)	数量	合計	備考																					
非常時備蓄品	1,954,000	1	1,954千円																						
身障用簡易トイレ	240,100	2	481千円																						
合計			2,435千円																						
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	指定避難所となる公共施設に身障用簡易トイレを設置することで、円滑な避難行動並びに、障害者の方にも対応できる避難所生活が可能となります。又、大規模災害時、自宅が倒壊し避難所に来た人や帰宅困難者などのために非常食を備蓄することで災害時の混乱防止を図る。																								
事業のコスト	平成26年度(実績)		平成27年度(見込)																						
決算額又は決算見込額(千円)	2,102		2,538																						
従事職員数【人工】	0.10		0.10																						
人件費(人工×8,000千円)	800		800																						
総事業費:人件費含む(千円)	2,902		3,338																						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・(その他())																									
活動指標名	避難所数																								
活動指標の算式	-																								
活動指標の実績(見込)	28	単位	箇所	28	単位	箇所																			
単位当たりコスト (円)	103,643		119,214																						
備考	特定財源の状況																								
	災害救助基金繰入金 災害用備蓄用品 2,435千円																								
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (6)避難所設備強化事業																								

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織設立推進事業			
所管課	43	危機管理課 (総務部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	災害が多様化している今日において、地域の自治会組織を中心とした共助機能は、個々のプライバシーや自己権利の主張などを原因に低下の状況にある。これは地域の災害に対する備えも低下していることに他ならない。 このような状況に歯止めをかけ、地域住民の災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに高齢者から子供までが協力して、安全で安心に暮らせる地域づくりの一助とする。		区分	No.	区分名	
			款	8	消防費	
			項	1	消防費	
			目	3	災害対策費	
細目	1	災害対策費				
根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H28年度事業の概要	従来から進めている自主防災組織の結成を促進し、結成率を高める。 平成27年度末結成率 64.79% 平成27年10月末時点 (結成率=自主防災組織加入世帯/宇陀市の総世帯数)		財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	自主防災の結成は、地域で希薄となっている共助意識の高揚を図り、大規模災害発生時の地域の減災に資するものである。 また、自主防災組織の結成促進は、大規模災害の発生時において公助の立ち遅れをカバーするものであり、地域の減災と災害時要援護者避難支援計画の効果的な実行は、この自主防災組織の積極的な活動に期待するところが大きい。		分担金		
使用料						
国費						
県費						
市債						
その他						
一般財源		300				
H28予算額		300				
H27当初予算額	500					
H27現計予算額	500					
増減額	▲ 200					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	132	200				
従事職員数【人工】	0.01	0.01				
人件費(人工×8,000千円)	80	112				
総事業費:人件費含む(千円)	212	312				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	補助団体(自主防災会)		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (7)自主防災組織設立の促進		
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)	2	単位 団体		7	単位 団体	
単位当たりコスト (円)	106,000			44,571		

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	自主防災組織資機材購入補助事業			
所管課	43	危機管理課 (総務部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	地域住民が災害に対する知識と備えを向上させ、地域共助機能の回復・高揚と減災を図るとともに、高齢者からの子どもまで協力して安全で安心に暮らせる地域づくりの一環とする。		区分	No.	区分名	
			款	8	消防費	
			項	1	消防費	
			目	3	災害対策費	
細目	1	災害対策費				
根拠条例等	宇陀市自主防災組織育成事業補助金交付要綱					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H28年度事業の概要	自主防災組織を結成した組織に対して必要最小限度の資機材を備えさせるために、資機材の整備について「宇陀市自主防災組織の資機材の整備に係る補助金交付要綱」に基づき一定の補助金を交付する。 交付する額は、25世帯以上の団体は当該自主防災組織が資機材の購入に要した経費の2分の1以下の金額、又は基本額50,000円と自主防災組織の世帯数×500円を合計した金額のどちらか低い額を交付する。 ただし、25世帯未満の団体は基本額を25,000円とする。		財源の内訳 (単位:千円)			
			分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	結成された自主防災組織に必要な最小限の資機材を装備させ、組織の強化拡充を図ることで、地域の共助意識高揚の一環となるほか、減災に資する効果が期待できる。		使用料			
			国費			
			県費			
			市債			
			その他			
			一般財源	1,000		
			H28予算額	1,000		
			H27当初予算額	1,500		
H27現計予算額	1,500					
増減額	▲ 500					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	299	800				
従事職員数【人工】	0.01	0.10				
人件費(人工×8,000千円)	80	800				
総事業費:人件費含む(千円)	379	1,600				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	補助団体(自主防災会)					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)	3	単位	団体	8	単位	団体
単位当たりコスト(円)	126,333		200,000			
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (8)自主防災組織資機材購入補助事業					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	小型動力ポンプ付積載車購入事業																																								
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算																																						
事業の目的	消防施設の整備により消防団活動の充実強化を図り、宇陀市民の安全と安心を確保する。				区分	No.	区分名																																				
					款	8	消防費																																				
					項	1	消防費																																				
					目	5	消防施設費																																				
細目	1	本庁消防施設費																																									
根拠条例等																																											
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現																																										
H28年度事業の概要	宇陀市消防団組織再編の方針により、小型動力ポンプ付積載車の更新に伴う購入費用				財源の内訳 (単位:千円)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>86千円</td> <td>諸経費(車両登録)</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>15,800千円</td> <td>小型動力ポンプ付積載車2台</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>50千円</td> <td>重量税</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15,936千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				科目名	予算額	備考	役務費	86千円	諸経費(車両登録)	備品購入費	15,800千円	小型動力ポンプ付積載車2台	公課費	50千円	重量税	合計	15,936千円		<table border="1"> <tr><td>分担金</td><td></td></tr> <tr><td>使用料</td><td></td></tr> <tr><td>国費</td><td></td></tr> <tr><td>県費</td><td></td></tr> <tr><td>市債</td><td>15,800</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>136</td></tr> <tr><td>H28予算額</td><td>15,936</td></tr> <tr><td>H27当初予算額</td><td>9,172</td></tr> <tr><td>H27現計予算額</td><td>9,172</td></tr> <tr><td>増減額</td><td>6,764</td></tr> </table>			分担金		使用料		国費		県費		市債	15,800	その他		一般財源	136	H28予算額	15,936	H27当初予算額	9,172	H27現計予算額	9,172	増減額
科目名	予算額	備考																																									
役務費	86千円	諸経費(車両登録)																																									
備品購入費	15,800千円	小型動力ポンプ付積載車2台																																									
公課費	50千円	重量税																																									
合計	15,936千円																																										
分担金																																											
使用料																																											
国費																																											
県費																																											
市債	15,800																																										
その他																																											
一般財源	136																																										
H28予算額	15,936																																										
H27当初予算額	9,172																																										
H27現計予算額	9,172																																										
増減額	6,764																																										
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	災害時における機動力の確保、故障や不具合等の不安解消など、消防力の充実強化を図ることができる。																																										
事業のコスト		平成26年度(実績)		平成27年度(見込)		特定財源の状況																																					
決算額又は決算見込額(千円)		6,643		9,072		緊急防災・減災事業債 15,800千円																																					
従事職員数【人工】		0.10		0.10																																							
人件費(人工×8,000千円)		800		800																																							
総事業費:人件費含む(千円)		7,443		9,872																																							
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																																											
活動指標名		/																																									
活動指標の算式																																											
活動指標の実績(見込)																																											
単位当たりコスト (円)																																											
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)消防団活動の充実・安定																																									

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	消防機庫等建設事業																						
所管課	43	危機管理課	(総務部)		宇陀市一般会計予算																				
事業の目的	消防団再編計画に基づき、地域の防災活動の拠点として老朽化した施設整備、消防車両の規格変更への対応及び消防団活動の福利厚生充実を図るため、消防機庫の改築、増築等を行い、災害に強い消防団組織の構築と、地域の防災拠点を整備することで、地域防災力の向上を図り、地域住民にやすらぎとるおいのある生活環境の確保を図る。				区分	No.	区分名																		
					款	8	消防費																		
					項	1	消防費																		
					目	5	消防施設費																		
細目	1	本庁消防施設費																							
根拠条例等																									
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現																								
H28年度事業の概要	①大宇陀第3分団機庫改築工事 ②榛原第1分団機庫新築工事設計				財源の内訳 (単位:千円)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>予算額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役務費</td> <td>42千円</td> <td>大宇陀第3分団確認申請</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">委託料</td> <td>1,288千円</td> <td>大宇陀第3分団工事監理</td> </tr> <tr> <td>3,240千円</td> <td>榛原第1分団新築設計</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>21,579千円</td> <td>大宇陀第3分団工事</td> </tr> <tr> <td>補償補填・賠償金</td> <td>389千円</td> <td>大宇陀第3分団電柱移転</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26,538千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				科目名	予算額	備考	役務費	42千円	大宇陀第3分団確認申請	委託料	1,288千円	大宇陀第3分団工事監理	3,240千円	榛原第1分団新築設計	工事請負費	21,579千円	大宇陀第3分団工事	補償補填・賠償金	389千円	大宇陀第3分団電柱移転	合計	26,538千円		分担金 使用料 国費 県費 市債 27,000 その他 一般財源 ▲ 462 H28予算額 26,538 H27 当初予算額 3,352 H27 現計予算額 3,352 増減額 23,186
科目名	予算額	備考																							
役務費	42千円	大宇陀第3分団確認申請																							
委託料	1,288千円	大宇陀第3分団工事監理																							
	3,240千円	榛原第1分団新築設計																							
工事請負費	21,579千円	大宇陀第3分団工事																							
補償補填・賠償金	389千円	大宇陀第3分団電柱移転																							
合計	26,538千円																								
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	消防団の再編計画により、機庫整備を行うことにより、分団の連携強化を図ることができる。																								
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況																					
決算額又は決算見込額(千円)				緊急防災・減災事業債 27,000千円																					
従事職員数【人工】																									
人件費(人工×8,000千円)																									
総事業費:人件費含む(千円)																									
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																									
活動指標名																									
活動指標の算式																									
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)消防団活動の充実・安定																				
単位当たりコスト (円)																									